

令和4年度 徳島北高等学校 第1回学校運営協議会 協議概要

1 日 時

令和4年7月21日（木） 午後1時30分から午後2時30分まで

2 場 所

徳島北高等学校 大会議室

3 あいさつ・学校現況説明（木屋村校長）

4. 事務局説明

豊田教頭が学校運営協議会の概要と徳島北高等学校運営協議会要綱について説明した。

5 役員選出

会長として西川PTA会長，副会長として木屋村校長が選出された。

6 協 議

（1）学校経営方針について

木屋村校長が，令和4年度の学校経営方針等について説明し，承認された。

（2）教育課程の編成について

教務・情報課の美崎教務主任が，令和4年度の教育課程の編成について説明を行い，承認された。

（3）学校評価計画について

企画課の北浦課長が，令和4年度の学校評価計画について説明した。

（4）各委員から質問や意見等について

① 先程の現況説明の中で，徳島北高校のこれまでの進路に対する取組が，ベネッセの躍進校として取り上げられ，オンラインセミナーで全国に事例発表を行ったとあったが，どのような取組が評価されたと考えているかお聞きしたい。

（答）本校に入学してきた生徒に対しては，学年団を中心とした「教員の横のつながり」と進路課を中心とした進路検討会や各教科の教科会を通じた「教員の縦のつながり」で共通理解を図りながら，学校全体が「チーム北高」として全教員が1つの方向に向いて地道に取り組んできた成果ではないかと考えている。（木屋村校長）

② 3年ぶりに地元の夏祭りが開催されるが，北高の放送部が祭りの進行を行ったり，ゴミの分別のボランティアをしてくれたり，国際英語科の生徒が外国人に対する通訳ボランティアを行ってくれる。地域としては本当にありがたいと思っている。今後もこのような繋がりを大切にして欲しい。

- ③ 北高は、開校当初から英語教育や国際交流に力を入れているが、先程の現況説明の中で生徒会を中心にウクライナ支援の募金を行ったと聞いて、やっぱり北高だと感心した。北高は入学してから卒業まで個人を伸ばす手厚い指導を行っているが、生徒自らが考えて行動することが大切である。これからも個別の面接指導等を通して生徒のやる気を引き出してもらいたい。
- ④ 地域の中で高校生が活躍することが、北高のPRにも繋がるだろう。私もこの学校の保護者であったが、チーム北高の取組は素晴らしいと思っている。先生方の負担も大きいだろうが、これからも頑張ってもらいたい。今後は、地域の小・中学校との交流や北高生の出前講座等を実施してほしい。
- ⑤ 昨年度、学校運営協議会の立ち上げにともない、JICA出前講座を実施していただいた。私自身も学生時代にJICA出前講座で影響を受けて自らも海外にでた。自ら体験することも重要ではあるが、海外で活躍された日本人の話をきくことも中・高生には重要である。そのような取組にも力を入れてほしい。
- ⑥ さまざまなコミュニティと係わり、その中でさまざまな体験を積むことは生徒の成長にとって大切である。また、生徒自らが企画できるようになることが理想であるが、そこに至るまでのプロセスが重要でもある。そのような機会を学校は提供していきたい。
- ⑦ 北高生は国際交流やコミュニティの場で活躍している。本当に生徒一人一人を大切にされていて、生徒たちも本当に仲が良いと聞いている。しかし、学校生活に悩みを抱える生徒は必ずいると思う。そのような生徒をどう支援していくか、チーム北高でしっかり指導していただきたい。